

山口県立大津緑洋高校（校舎制）の視察・Part2

（定期情報No1を一部参照しながらお読みください。）

統合の背景と地域の反応

- ・岩手同様少子化対策と特色ある学校作りを前面に押し出し、計画は06～09年で大津高校・水産高校での統合が完了する予定だったが、さらに状況が変わり08年に計画が変更となり、日置農業高校が加わり、3校の統合となった。
- ・3校ともに伝統校であり、同窓会や地域・PTAの猛烈的な反対運動が起きる。各校の伝統を守りたいという地域と、(単独校としての存続は不可能と判断し) 統合の形をとりながら各校舎を残すという県教委とのせめぎ合いがあった…



千葉県議と中村校長

経 過

- ・05年の計画発表と、08年の計画変更発表時に反対運動が盛り上がるも、県教委による地域との話し合いが繰り返され、計画は実行された。
- ・特色ある学校作りのため、施設の改修と教育内容の改訂がすすめられた。
- ・11年開校となり、現在では反対運動の影は全くないと、当時県教委で計画を進めた中村校長は語る。
- ・16年度、学区が全県一区となり、大津緑洋高校の志願倍率が上がった。

学校運営

<学び>

合同で行う行事以外はほぼ、キャンパスごとの授業なので、生徒の移動はない。

- ・大津キャンパス： 3学級120人（2・3年次は文系2クラス、理系2クラス）
- ・日置キャンパス： 生物生産科1学級、生活科学科1学級（各30人）

※2年生からは各科2コース設定され、農産物の生産加工・園芸・生活福祉・食品文化に分かれる。

- ・水産キャンパス：海洋技術科1学級（30人）2・3年次2コース、その後2年間の専攻科有り
海洋科学科1学級（30人）2・3年次4コース

※2年生から、航海・機関・マリンバイオ・進学マリンバイオ・マリンフード・進学マリンフードの各コースに分かれる。

<学校行事>

- ・始業式、入・卒業式は、それぞれの校舎で同一日に時間差で行う。
- ・文化祭、体育祭はそれぞれの校舎の特色を生かし、開催時期は別。
- ・意図的に3校舎合同で行う行事を設定した。

学習発表会、体験航海、農業体験、野球応援…互いの学びを体験し合い、認め合いができています。

<職員配置>

- ・校長1、副校長は各校1、水産キャンパスには教頭も置く。
- ・養護教諭は各校1配置。
- ・芸術、家庭は3校舎兼務
- ・実習教諭は各校に配置
- ・事務長は大津キャンパスに置き、事務主査・主事等を各校舎に置く。
- ・校務技師（現業）は各校舎1、その他臨時職員を置く。

※16年度から 日置、水産は25人学級

「統合時から加配があり、他の高校に迷惑をかけている」と校長の弁。



船舶機関